

第7ブロック
母親委員会だより

No. 1



～ここにいるよ あなたのみかた～

母親委員 漆畑 由佳
天野 洋子
担当校 豊田中学校
西豊田小学校
富士見小学校

みなさん、初めまして♪
今年度の第7ブロック母親委員です！
第7ブロックは森下小、富士見小、南部小、西豊田小、東豊田小、東源台小、高松中、東豊田中、
豊田中の9校各2名の合計18名で今年も活動いたします！

さて、今年は5年ぶりに活動テーマが変更になりました。

ここにいるよ あなたのみかた

母親委員は各校のPTA本部の役員に所属しながら、母親の心の視点で、今の子ども達を取り巻く環境や
問題などを学習して、自分の子どもだけではなく、学区を越えて第7ブロックの子ども全員の父兄のみなさんに
「母親委員だより」や講演会を通して情報を発信していく活動をしています。

みなさんへお願いします。同じ親として各校の母親委員の「みかた」となってください。
母親委員全員もみなさんの「みかた」として頑張ります！

今回の母親委員だよりは以下の内容を詳しく記事にしています。

- 西ヶ谷資源循環体験プラザしずもーる体験と西ヶ谷清掃工場見学
(リサイクルガラス工作と環境保護の最新技術溶融炉処理)
- 南部特別支援学校「なんぶっここと遊ぼう」
(恒例の支援学校と近隣小学校の交流行事のお手伝いに参加しました。)

- 次回、母親委員だより2号は以下の内容を掲載予定です♪
- 研修会「DS・スマホ……子ども達は何をやっているの？」
～子ども達の現状を正しく知り、ネットの振り回されない環境を作りませんか～
 - 新設3年目「駿河総合高等学校」見学

講演会開催予告

第7ブロック母親委員主催講演会
子どもが自主的に行動しやすくなる、他人に振り回されない自分軸を強くする！
「母親のためのコーチング講座」
講師：ICF国際コーチ連盟マスター認定コーチ・
文部科学省管轄生涯学習開発財団認定マスターコーチ
土方良子先生

日時：平成27年11月9日(月)午前10:00～11:30
会場：静岡市健康文化交流館 来・て・こ 3Fホール

※事前の申込が必要です！
第7ブロックの保護者の方はどなたでも無料で参加できます。
詳しくは近日中に改めてお知らせします！



西ヶ谷清掃工場見学&フュージング体験



7月8日(水)に第七ブロック母親委員で西ヶ谷清掃工場の見学と隣接する西ヶ谷資源循環体
験プラザ「しずもーる西ヶ谷」でフュージング体験を行ってきました。

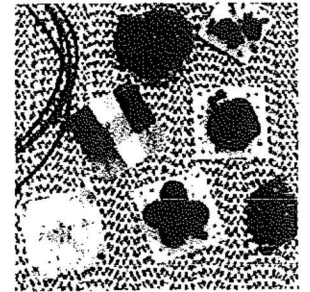
清掃工場見学

清掃工場は、平成22年3月に竣工し、家庭ごみや可燃粗大ごみを一日500t、24時間365日
稼働しています。ここでは、家庭ごみや可燃粗大ごみとして回収されたごみが、ガス化溶融炉に
より溶融・燃焼され、そこで出てくる「溶融スラグ」はコンクリートに使用され、「溶融メタル」は製鉄
原料や重機の重りとして使用されます。

また、溶かす際に出る蒸気は、蒸気タービン・発電機で発電し電気エネルギーとして利用し、施
設内(しずもーる西ヶ谷の施設も含む)の電力をまかなうほか、余った電力は売電し、廃熱は隣接
する市営プールの温水に有効利用しています。もちろん環境負荷を低減する様々な工夫もされて
いるそうです。

フュージング体験

「フュージング」とは、ガラス細工の技法のひとつで、ガラスを高温
で溶かし、融合させることです。小物やアクセサリを作ることもでき
ます。今回、作ったものは人によって様々ですが、箸置きやヘアゴム、
チョーカー、ストラップ等を製作体験しました。また、この時に使用する
ガラスの多くはリサイクルガラスで、製作した作品は窯に入れて熱を
加えますが、この熱も清掃工場からの廃熱を利用しています。



その他にも、しずもーる西ヶ谷では4R体験講座ということで、布お
もち作り講座、ウッドバーニング講座、つるし飾り講座、間伐材クラフト講座など、様々な講座が行
われています。子供でも簡単に作ることができるので皆さんも親子で作ってみてはいかがでしょうか。

4Rとは、

1.Refuse (リフューズ)

不要なもの、余計なものは「いりません」と断ること。

2.Reduce (リデュース)

ごみを減らすこと。

3.Reuse (リユース)

まだ使えるものを、くりかえし使うこと。

4.Recycle (リサイクル)

資源としてまた利用すること。



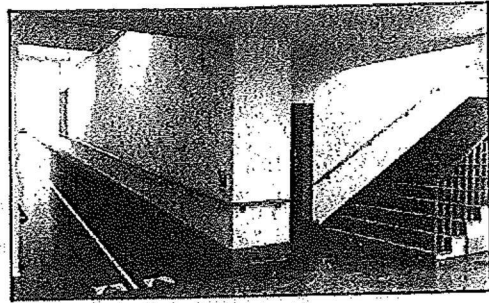
~~~~まとめ~~~  
西ヶ谷清掃工場では、様々な工夫によって再  
生できるものは再生利用し、エネルギーも電力  
や温水に使うなど、無駄が少ない工場であると  
感じました。工場ではこのように効率のよい処  
理をしていますが、私たちも全てをゴミとして排  
出するのではなく、左に書いたような4Rなど出  
来ることを実践し廃棄物を少なくすることで環  
境負荷を減らすことができると思いました。

なんぶとくべつしえんがっこう  
南部特別支援学校ってこんなところ

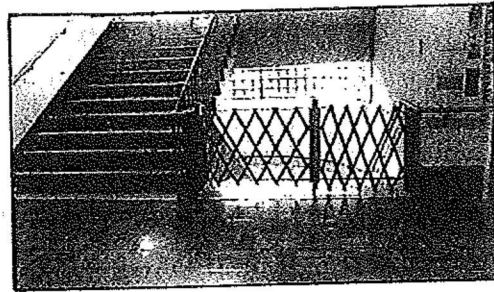
「知っているようで知らない」、「近いけれど入ったことがない」、「設立したのはいつ？」  
このような疑問をお持ちの保護者の方は多いのではないのでしょうか。  
南部特別支援学校は、肢体に不自由さのある子どもを対象とする特別支援学校です。ここではほんの一部ですが学校の紹介をします！

《沿革》

- 昭和 28 年 4/1 静岡療護園(現静岡医療福祉センター)開設とともに、西豊田小学校・豊田中学校の特殊学級が施設内に置かれ教育を開始
- 昭和 33 年 4/1 静岡県立養護学校設立 静岡療護園の一部を仮校舎として発足
- 昭和 50 年 4/1 新校舎完成 新校舎を静岡県立中央養護学校麻機校舎と呼称する 旧校舎を静岡県立中央養護学校小鹿校舎と呼称し 静岡療護園による医療・訓練を必要とする児童生徒を対象とする
- 昭和 55 年 4/1 小鹿校舎が独立し南部養護学校が設立
- 昭和 60 年 12/24 小鹿校舎から現校舎移転
- 平成 20 年 4/1 校名を静岡南部特別支援学校に変更



校内はスロープがあり  
車いすやベッドの移動がしやすい



階段の降り口にはフェンスが設置されていて安心♡

【南部特別支援学校の先生にききました】

- ♪南部特別支援学校のここがスゴイ！
- A. 体育祭など、全力で体を動かしたり、お互いを応援しあいみんなが一つになって『がんばるところ』。
- ♪先生が気をつけていることは？
- A. 『あいさつ』。医療福祉センターの廊下を通ってくる子供たち。朝あつたらあいさつを大切にしています。
- ♪学校で子どもたちが楽しみにしていることは？
- A. この時期は『プール』です。学校の3階にプールがあって9月中旬まで楽しむ予定です。読み聞かせや、読書、きれいな絵の本をみるのも大好きです。

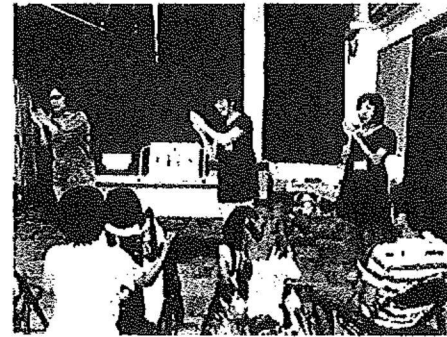
なんぶっことあそぼう

H27. 7. 28(火)  
南部特別支援学校において

「なんぶっことあそぼう」というイベントは南部特別支援学校の児童生徒たちが、地域の子どもたちとの交流を目的として、1年に1度同校で開催されているイベントです。

このイベントには西豊田小学校の児童をはじめ、豊田中学校生徒会役員、駿河総合高校の生徒たちも参加して、支援学校の児童たちとグループを作り、ゲームやエプロンシアター、工作などの色々なブースに参加するなど交流を深めました。

私たち第7ブロック母親委員有志は、西豊田小学校母親委員を中心に、大型絵本の読み聞かせとエプロンシアターを担当しました。



子どもたちの感想

- ・みなさんの笑顔が素敵で、僕も笑顔になりました。交流を深めることができ嬉しかったです。
- ・剣と花を風船で作って楽しかったです。
- ・この学校のみんなど仲良くなれて嬉しかったです。
- ・学校の中が良くわかったし、色々な遊びができて良かったです。
- ・パン屋さんの手伝いをして、みんなが来て喜んでくれて嬉しかったです。

エプロンシアター感想

- ・小さい時から近隣の児童生徒と交流を重ね、お互いに理解を深めることができる大変有意義なイベントだと改めて思いました。
- ・普段は絵本で読み聞かせることが多いので、エプロンのポケットから登場人物などが出て来るのは、私や子どもたちにとっても新鮮な気がしました。



胸当て式のエプロンを舞台に見立て、ポケットから次々と人形をエプロンにつけたり、はずしたり、ポケットに戻したりして、お話を進めます。

絵本の感想

- ・各学校の児童生徒が、一緒に真剣に絵本を聞いて楽しんでくれたのが嬉しかったです。
- ・大型絵本を読みました。どの子どもも真剣に聞いてくれて、久しぶりに緊張しました。
- ・西豊田小学校の子どもたちが、車椅子の生徒さんが通りやすいように通路を空けたり、車椅子を押したりしている姿が、自然で素敵だなと思いました。

